

授業科目名	環境(指導法)		科目コード	204017	
開講クラス	こども未来科	コース	保育士・幼稚園教諭	学 年	1 年
担当教員	非常勤講師		実務経験教員 (有 ・ <input type="checkbox"/> 無)		
	実務経験内容 ・近畿大学九州短期大学通信教育部非常勤講師 大学教員として 17 年間勤務し、主に保育・教育分野にて、保育者養成や教員養成に携わってきた経験を活かし授業を行う。				
開講時期	前期・ <input type="checkbox"/> 後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	15 時間	
	<input type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	『幼稚園教育要領解説』『保育所保育指針解説』最新版			
	著 者	文部科学省、厚生労働省			
	出版社	フレーベル館			
使 用 テキスト 2	書 名	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』最新版			
	著 者	内閣府・文部科学省・厚生労働省			
	出版社	フレーベル館			
参考図書					
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<授業の目的・目標> ・子どもの発達における領域「環境」の重要性について学ぶ。 ・5 領域における領域「環境」の位置づけと、他領域との関連性について学ぶ。 ・環境を通した保育についてその保育内容及び指導方法について学ぶ。					
<授業の概要・授業方針> ・領域「環境」について解説し、子どもを取り巻く環境の現状や問題について考察する。 ・5 領域を踏まえた子どもの評価と保育者の自己評価について考察する。 ・実地演習を通して、身近な環境を取り入れた保育実践力を獲得する。					
<成績基準・評価基準> ・成績基準 優：80 点以上、良：70 点以上、可：60 点以上、不可 59 点以下 ・成績評価 1 課題・レポート 70% 2 グループ発表 30%					
<使用問題集・注意事項> ・実地演習の際は、各自、熱中症対策（水分の持参）を行ってください。					
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> ・実地演習までに、使用テキスト（3種類）の領域「環境」の部分を読み込んでください。さらに、各テキストにおいて「環境を通した保育」が記載されている部分についても読んでください。実地演習当日、持参する必要はありません。					

授業科目名		環境(指導法)	
回	授 業 内 容		備 考
1	5 領域における領域「環境」の位置づけと関連性		
2	子どもと保育者のかかわり（人的環境①）		
3	子ども同士のかかわり（人的環境②）		
4	身近な自然とのかかわり（自然環境①）		
5	身近な自然と子どもの遊び（自然環境②）		
6	身近な自然が子どもに及ぼす効果（自然環境③）		
7	子どもの遊びと遊具（物的環境①）		
8	子どもの遊びと遊具（物的環境②）		
9	子どもの生活と園庭の環境（物的環境③）		
10	子どもの生活と園庭の環境（物的環境④）		
11	保育者としての感性と観察力を育む（社会環境①）		
12	保育者としての注意力と判断力を育む（社会環境②）		
13	自然への気づきと子どもの生活（保育施設と家庭の連携）		
14	保育施設の生活と小学校教育（保育施設と学校の連携）		
15	環境を通じた保育の必要性 課題レポートについて解説		